

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所  
 コード番号 6022 URL <http://www.akasaka-diesel.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 赤阪 全七  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・営業担当 (氏名) 木村 充宏  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 054-685-6081

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,977	△11.2	625	△53.2	629	△53.8	373	△55.5
21年3月期第3四半期	12,361	—	1,336	—	1,362	—	839	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	24.40	—
21年3月期第3四半期	54.85	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	17,638	7,861	44.6	513.57
21年3月期	17,465	7,605	43.5	496.79

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,861百万円 21年3月期 7,605百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△22.0	750	△55.9	700	△60.0	400	△59.0	26.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 15,400,000株 21年3月期 15,400,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 91,942株 21年3月期 90,479株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 15,308,789株 21年3月期第3四半期 15,313,251株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月30日に公表いたしました業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

一昨年秋以降、世界経済の急激な後退から、国内経済も輸出が減少し、景気は大幅に悪化いたしました。昨年春頃から世界経済は持ち直しに向かい、このところ緩やかに回復しているとの観測があるものの、企業の厳しい収益環境などを背景に設備投資は減少を続け、また個人消費は雇用・所得環境が厳しさを増す中で低迷、ここにきて円高の進行により厳しい経済環境にあります。

このような状況の中、当第3四半期の海運業界は、荷動きの減少それに伴う運賃の下落により厳しい経営環境が続いております。また、造船業界は、前年度までの高水準な受注残高を背景に新造船の生産は確保されたものの、新規商談がほとんどない状況であり、今後さらに厳しい経営環境を強いられる状況にあります。

当第3四半期の経営成績は、売上高は10,977百万円（対前年同期比11.2%減）、利益面においても、収益性の高い部分品及び修理工事の売上は伸び悩みましたが、材料価格が一部を除き落ち着きを取り戻したこと等によりコスト削減に努めた結果、経常利益は629百万円（対前年同期比53.8%減）となり、概ね当初予定を確保することができました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は17,638百万円となり、前事業年度末に比べ173百万円増加いたしました。主な要因は、仕掛品の減少等により流動資産は448百万円減少しましたが、設備の取得等により固定資産が621百万円増加したためです。

当第3四半期末の負債は9,776百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少等により流動負債は1,813百万円減少しましたが、社債や長期借入金の増加等により固定負債が1,730百万円増加したためです。

当第3四半期末の純資産は7,861百万円となり、前事業年度末に比べ256百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加等により株主資本が266百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が10百万円減少したためです。この結果、当第3四半期末における自己資本比率は44.6%となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は、当初予定していた船用主機関の売上時期が、客先都合により来期に変更になったこと、また、陸上部門の売上が予定以上に低調であること等により予想売上高を300百万円引き下げております。よって、売上高の予想といたしましては、通期13,500百万円を見込んでおります。

一方、利益につきましては、コスト削減等を一層努めますので、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、前回公表数字と同額と予想しております。

なお、平成21年10月30日の第2四半期決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,800	750	700	400	26.13
今回修正予想 (B)	13,500	750	700	400	26.13
増減額 (B - A)	△300	—	—	—	—
増減率 (%)	△2.2	—	—	—	—
前期実績	17,315	1,702	1,748	976	63.78

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 棚卸資産の評価方法

実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

###### ② 原価差異の配賦方法

原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦方法については年度決算と比較して簡便な方法で実施しております。

###### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

年度中の取得、除却等を見積もりを考慮した予算を策定しており、これに基づいた年間予定償却額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実行税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,410,289	3,325,778
受取手形及び売掛金	4,329,268	4,871,332
仕掛品	2,503,858	3,543,624
原材料及び貯蔵品	610,415	611,057
その他	260,102	219,620
貸倒引当金	△16,858	△25,929
流動資産合計	12,097,076	12,545,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,065,751	1,651,932
その他(純額)	2,455,590	2,194,863
有形固定資産合計	4,521,341	3,846,796
無形固定資産	32,658	45,302
投資その他の資産		
その他	1,043,526	1,082,521
貸倒引当金	△55,934	△54,467
投資その他の資産合計	987,591	1,028,054
固定資産合計	5,541,591	4,920,153
資産合計	17,638,667	17,465,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,904,191	4,230,356
短期借入金	1,326,600	1,417,360
未払法人税等	6,952	268,833
引当金	163,373	320,092
その他	1,787,298	1,765,336
流動負債合計	6,188,415	8,001,977
固定負債		
社債	667,400	219,600
長期借入金	2,327,178	1,001,978
退職給付引当金	259,421	303,506
役員退職慰労引当金	138,009	128,203
その他	196,544	204,692
固定負債合計	3,588,552	1,857,979
負債合計	9,776,968	9,859,957

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,351,521	5,085,361
自己株式	△30,951	△30,861
株主資本合計	7,756,916	7,490,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	104,783	114,834
評価・換算差額等合計	104,783	114,834
純資産合計	7,861,699	7,605,679
負債純資産合計	17,638,667	17,465,637

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	12,361,176	10,977,374
売上原価	9,538,883	9,073,251
売上総利益	2,822,293	1,904,123
販売費及び一般管理費	1,485,647	1,278,504
営業利益	1,336,646	625,618
営業外収益		
受取利息	3,638	2,644
受取配当金	19,906	16,304
スクラップ売却益	47,923	—
違約金収入	—	25,544
その他	16,826	35,847
営業外収益合計	88,295	80,340
営業外費用		
支払利息	54,602	47,913
社債発行費	—	18,789
その他	8,280	9,546
営業外費用合計	62,882	76,250
経常利益	1,362,059	629,708
特別利益		
固定資産売却益	128	—
投資有価証券売却益	22,580	—
抱合せ株式消滅差益	70,274	—
貸倒引当金戻入額	—	4,921
その他	13,259	—
特別利益合計	106,244	4,921
特別損失		
固定資産売却損	34,047	238
投資有価証券評価損	33,981	11,353
ゴルフ会員権評価損	—	7,154
その他	2,685	321
特別損失合計	70,714	19,067
税引前四半期純利益	1,397,589	615,561
法人税等	557,606	242,038
四半期純利益	839,983	373,522

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,397,589	615,561
減価償却費	463,136	475,564
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,195	△7,603
受取利息及び受取配当金	△23,545	△18,949
支払利息及び手形売却損	59,471	51,710
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	11,400	11,353
固定資産除売却損益(△は益)	36,517	560
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△70,274	—
売上債権の増減額(△は増加)	432,010	507,596
割引手形の増減額(△は減少)	△4,086	34,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,280,651	1,040,407
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,937	△41,582
仕入債務の増減額(△は減少)	596,353	△1,326,164
未払消費税等の増減額(△は減少)	△65,940	△1,826
その他の引当金の増減額(△は減少)	△233,022	△190,998
その他の負債の増減額(△は減少)	80,758	225,084
小計	1,375,584	1,375,180
利息及び配当金の受取額	23,545	19,527
利息の支払額	△53,431	△46,114
法人税等の支払額	△845,452	△500,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	500,245	847,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△235,500	△112,540
定期預金の払戻による収入	90,000	416,000
有形固定資産の取得による支出	△124,693	△1,283,610
有形固定資産の売却による収入	155,926	95
無形固定資産の取得による支出	△5,400	△700
投資有価証券の取得による支出	△34,797	△3,010
投資有価証券の売却による収入	29,731	—
貸付けによる支出	△21,240	△15,981
貸付金の回収による収入	45,252	10,472
投資その他の資産の増減額(△は増加)	7,900	14,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,821	△974,982
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	132,000	△98,000
長期借入れによる収入	200,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△376,985	△267,560
社債の発行による収入	—	500,000
社債の償還による支出	△122,200	△112,200
自己株式の増減額(△は増加)	△2,810	△285
配当金の支払額	△121,965	△106,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,962	1,514,973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,462	1,387,970
現金及び現金同等物の期首残高	2,265,775	2,538,778
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,747	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,396,984	3,926,749

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,415,918
その他の事業 (千円)	184,010
合計 (千円)	3,599,928

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第3四半期会計期間における受注状況を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
内燃機関関連事業	2,518,861	12,444,924
その他の事業	184,010	—
合計	2,702,871	12,444,924

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,671,918
その他の事業 (千円)	184,010
合計 (千円)	3,855,928

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。